

## 富山クリエイティブ専門学校 建築学科 授業計画書

授業名	設計製図 I (1学期)	講師名	水野 敦	実務経験教員区分	有り
令和年度・学年・学期・曜日・限			令和2年度・1学年・1学期・木曜日・1限～4限		
授業種別	実技	評価方法	受講姿勢 課題	単位数	8単位
教室	501教室	教科書	製図テキスト	教材	設設計資料修正

講義概要
トレース課題を通じて、製図の基礎(線の引き方、作図記号の意味など)を学ぶ
木造住宅(平屋)の設計を通じて、動線および空間構成の方法について学ぶ
規模の小さな店舗の設計を通じて、建物の機能とデザインの関係について学ぶ

目標・ねらい
課題制作を通じて、設計製図の基礎を身につける
自身で設計した建物の模型をつくり、平面と空間の関係を身につける
課題制作を通じて、自己管理能力および責任感を養う

期間・日程	内容	備考
第1週 4月6日、9日	トレース実習(線の引き方、実践課題・平面図)	
第2週 4月13日、16日	トレース実習(実践課題／平面図)	
第3週 4月20日、23日	トレース実習(実践課題／立面図、断面図)	
第4週 4月27日、30日	課題01「小さな住まい」 (エスキス／配置図)	
第5週 5月4日、7日	同 上 (エスキス／平面図)	5/4みどりの日
第6週 5月11日、14日	同 上 (エスキス／平面図)	
第7週 5月18日、21日	同 上 (エスキス／立面図、断面図)	
第8週 5月25日、28日	同 上 (エスキス／立面図、断面図、清書)	
第9週 6月1日、4日	同 上 (清書)	
第10週 6月8日、11日	同 上 (模型制作)	6/11講評会
第11週 6月15日、18日	課題02「小さなおみせ」 (エスキス／配置図、平面図)	
第12週 6月22日、25日	同 上 (エスキス／平面図)	
第13週 6月29日、7月2日	同 上 (エスキス／立面図、断面図)	
第14週 7月6日、9日	同 上 (エスキス／断面計画、清書)	
第15週 7月13日、16日	同 上 (清書)	7/16講評会

## 富山クリエイティブ専門学校 建築学科 授業計画書

授業名	設計製図 I (2学期)	講師名	水野 敦	実務経験教員区分	有り
令和年度・学年・学期・曜日・限			令和2年度・1学年・2学期・木曜日・1限～4限		
授業種別	実技	評価方法	受講姿勢 課題	単位数	8単位
教室	501教室	教科書	製図テキスト	教材	設設計資料修正

講義概要
エスキースレッスンを通じて、基本計画の立て方を学ぶ
2階建住宅の設計を通して、機能と動線について学ぶ
学生寮を通じて、複合機能について学ぶ

目標・ねらい
課題制作を通じて、設計製図の基礎およびプレゼンテーションの方法を身につける
多用途の建物を設計を通じて、より複雑な空間の作り方を学ぶ
規模の大きな建物の設計を通じて、機能とかたちの関係を見につける

期間・日程	内容	備考
第1週 9月3日、7日	課題「エスキースレッスン」(トレース)	
第2週 9月10日、14日	同 上 (オリジナル)	
第3週 9月17日、21日	同 上 (オリジナル)	9/11敬老の日
第4週 9月24日、28日	課題「木造2階建 店舗兼住宅」(エスキス/配置図)	
第5週 10月1日、5日	同 上 (エスキス/平面図)	
第6週 10月8日、12日	同 上 (エスキス/立面図・断面図)	
第7週 10月15日、19日	同 上 (エスキス/清書)	
第8週 10月22日、26日	同 上 (清書)	
第9週 10月29日、11月2日	同 上 (清書)	10/29講評会
第10週 11月5日、9日	課題「学生寮」(エスキス/配置図)	
第11週 11月12日、16日	同 上 (エスキス/平面図)	
第12週 11月19日、23日	同 上 (エスキス/立面図・断面図)	11/23勤労感謝の日
第13週 11月26日、30日	同 上 (エスキス/清書)	
第14週 12月3日、7日	同 上 (清書)	
第15週 12月10日、14日	同 上 (清書)	12/10講評会

## 富山クリエイティブ専門学校 建築学科 授業計画書

授業名	設計製図Ⅱ	講師名	高松鋭郎	実務経験教員区分	有り
令和年度・学年・学期・曜日・限			令和2年度・2学年・1学期・火曜日・1限～4限		
授業種別	実技	評価方法	授業姿勢、課題	単位数	8単位
教室	502教室	教科書		教材	資料プリント

講義概要
<p>建築分野の構造・環境・意匠を総合的に実践する設計製図で、環境を考えた住宅や中規模の地域設図書館を計画し、設計能力を向上させる。</p>

目標・ねらい
設計製図を通じて、住宅から公共建築までの建築計画の基本を学ぶ。
環境にやさしい木の家；二世帯6人家族の在来木造軸組み工法の住宅を設計する。
図書館の設計；敷地2000平方メートルくらいで中規模の地域図書館を設計する。
課題制作を通じて、自己管理能力、プレゼンテーション能力および責任感を養う。

期間・日程	内容	備考
第1週 4月7日	設計課題「環境にやさしい木の家」	
第2週 4月14日	同上 (エスキス/平面図)	
第3週 4月21日	同上 (エスキスチェック/平面図・立面図・断面図)	
第4週 4月28日	同上 (エスキスチェック/平面図・立面図・断面図/清書)	
第5週 5月5日	こどもの日	
第6週 5月12日	同上 (清書)	
第7週 5月19日	同上 (提出)	
第8週 5月26日	設計課題「図書館」、講義	
第9週 6月2日	同上 (エスキス/平面図)	
第10週 6月9日	同上 (エスキス/平面図・立面図・断面図)	
第11週 6月16日	同上 (エスキスチェック/平面図・立面図・断面図)	
第12週 6月23日	同上 (エスキス/チェック/清書)	
第13週 6月30日	同上 (清書)	
第14週 7月7日	同上 (清書)	
第15週 7月14日	同上 (提出)	

## 富山クリエイティブ専門学校 建築学科 授業計画書

授業名	設計製図 Ⅲ	講師名	高松鋭郎	実務経験教員区分	有り
令和年度・学年・学期・曜日・限			令和2年度・2学年・2学期・火曜日・1限～4限		
授業種別	実技	評価方法	授業姿勢、課題	単位数	8単位
教室	502教室	教科書		教材	資料プリント

講義概要
建築分野の構造・環境・意匠を総合的に実践する設計製図で、中規模の美術館や別荘を設計し、設計能力を向上させる。

目標・ねらい
設計製図を通じて、住宅から公共建築までの建築計画の基本を学ぶ。
美術館の設計；大きな市民公園の中に敷地2000平方メートルくらいで中規模の地域美術館を設計する。
湖畔に立つ別荘の設計；自然条件を如何に取り入れて住宅の設計をするか、考えさせて設計する。
課題制作を通じて、自己管理能力、プレゼンテーション能力および責任感を養う。

期間・日程	内容	備考
第1週 9月1日	設計課題「美術館」	
第2週 9月8日	同上 (エスキス/平面図)	
第3週 9月15日	同上 (エスキス/平面図・立面図・断面図)	
第4週 9月22日	秋分の日	
第5週 9月29日	同上 (エスキスチェック/清書)	
第6週 10月6日	同上 (エスキスチェック/清書)	
第7週 10月13日	同上 (清書)	
第8週 10月20日	同上 (清書・提出)	
第9週 10月27日	設計課題「湖畔に立つ別荘の設計」	
第10週 11月3日	文化の日	
第11週 11月10日	同上 (エスキス/平面図)	
第12週 11月17日	同上 (エスキスチェック/平面図立面図・断面図)	
第13週 11月24日	同上 (エスキスチェック/平面図立面図・断面図)	
第14週 12月1日	同上 (清書)	
第15週 12月8日	同上 (清書・提出)	

## 富山クリエイティブ専門学校 建築学科 授業計画書

授業名	建築計画 I (1学期)	講師名	福井真澄	実務経験教員区分	有り
令和年度・学年・学期・曜日・限			令和2年度・1学年・1学期・火曜日・1限～2限		
授業種別	講義	評価方法	試験・小テスト	単位数	2単位
教室	501	教科書	初學者の建築講座 建築計画 ／市ヶ谷出版社	教材	

<b>講義概要</b>
<p>建築計画とは、広義には「知識・技術を駆使して建築の全体像を作る作業のこと」を指し、狭義には「空間の要求・機能を把握すること」である。</p> <p>大きく建築全体に関係する事柄についての知識、住宅の設計に関する知識について、教科書の内容以外にも展開し、適宜プリント等補助教材を用いて授題を行う。</p>

<b>目標・ねらい</b>
<p>本講義の目的は、実際の設計を支える様々な事柄に関する知識の取得である。建築計画的な考え方を学ぶことと同時に、新しい考え方・語句・設計手法も紹介していきたい。</p> <p>毎回、講義内容に沿った簡単な課題を与え、自分の生活と建築を結び付けて考えられるようにすると共に、考えを文章や図で表現できるようにする。</p>

期間・日程	内容	備考
第1週 4月6日	建築計画概要	
第2週 4月13日	住様式と住宅の変化	
第3週 4月20日	居住施設の計画 戸建住宅の計画①	
第4週 4月27日	居住施設の計画 戸建住宅の計画②	
第5週 5月4日	みどりの日	
第6週 5月11日	居住施設の計画 戸建住宅の計画③	
第7週 5月18日	居住施設の計画 集合住宅の計画①	
第8週 5月25日	居住施設の計画 集合住宅の計画②	
第9週 6月1日	居住施設の計画 細部計画	
第10週 6月8日	学校教育施設の計画 幼稚園・保育所の計画	
第11週 6月15日	学校教育施設の計画 小学校・中学校の計画②	
第12週 6月22日	学校教育施設の計画 小学校・中学校の計画①	
第13週 6月29日	社会教育施設の計画 図書館①	
第14週 7月6日	社会教育施設の計画 図書館②	
第15週 7月13日	試験	

## 富山クリエイティブ専門学校 建築学科 授業計画書

授業名	建築計画 I (2学期)	講師名	福井真澄	実務経験教員区分	有り
令和年度・学年・学期・曜日・限			令和2年度・1学年・2学期・火曜日・3限～4限		
授業種別	講義	評価方法	試験・小テスト	単位数	2単位
教室	501教室	教科書	初學者の建築講座 建築計画 ／市ヶ谷出版社	教材	

<b>講義概要</b>
<p>建築計画とは、広義には「知識・技術を駆使して建築の全体像を作る作業のこと」を指し、狭義には「空間の要求・機能を把握すること」である。</p> <p>大きく建築全体に関係する事柄についての知識、住宅の設計に関する知識について、教科書の内容以外にも展開し、適宜プリント等補助教材を用いて授題を行う。</p>

<b>目標・ねらい</b>
<p>本講義の目的は、実際の設計を支える様々な事柄に関する知識の取得である。建築計画的な考え方を学ぶことと同時に、新しい考え方・語句・設計手法も紹介していきたい。</p> <p>毎回、講義内容に沿った簡単な課題を与え、自分の生活と建築を結び付けて考えられるようにすると共に、考えを文章や図で表現できるようにする。</p>

期間・日程	内容	備考
第1週 8月31日	社会教育施設の計画 コミュニティセンター・公民館	
第2週 9月7日	医療施設・福祉施設の計画 高齢社会と建築計画	
第3週 9月14日	医療施設・福祉施設の計画 病院	
第4週 9月21日	秋分の日	
第5週 9月28日	医療施設・福祉施設の計画 高齢者施設	
第6週 10月5日	商業施設の計画 規模計画と経済効率、事務所ビル①	
第7週 10月12日	商業施設の計画 事務所ビル②	
第8週 10月19日	商業施設の計画 劇場・音楽ホール	
第9週 10月26日	商業施設の計画 百貨店・スーパーマーケット	
第10週 11月2日	文化の日	
第11週 11月9日	商業施設の計画 宿泊施設・駐車場	
第12週 11月16日	外部空間の計画	
第13週 11月23日	自然現象の知覚 視覚と建築	
第14週 11月30日	寒暑感覚と建築、聴覚と建築	
第15週 12月7日	試験	

## 富山クリエイティブ専門学校 建築学科 授業計画書

授業名	建築計画Ⅱ	講師名	外崎 夢大	実務経験教員区分	有り
令和年度・学年・学期・曜日・限			令和2年度	2学年 1学期	月曜日 1限～2限
授業種別	講義	評価方法	受講姿勢・試験	単位数	2単位
教室	502教室	教科書		教材	

<b>講義概要</b>
<p>建築計画Ⅱでは、建築計画Ⅰに復習を行い、さらに複合施設や計画の基礎となる詳細計画などについて学ぶ。また防災計画や避難計画、建築物を企画するあたりマネージメント方法や使用する材料の積算方法についても学んでいく。</p>

<b>目標・ねらい</b>
<p>実際に計画する際に留意するための知識の習得。</p>

期間・日程	内容	備考
第1週 4月6日	都市計画について	
第2週 4月13日	独立受託、集合住宅	
第3週 4月20日	学校、幼稚園	
第4週 4月27日	図書館	
第5週 5月4日	こどもの日	
第6週 5月11日	美術館	
第7週 5月18日	医療施設、事務所	
第8週 5月25日	ホテル、店舗	
第9週 6月1日	駐車場、劇場、映画館	
第10週 6月8日	高齢者福祉施設	
第11週 6月15日	"	
第12週 6月22日	詳細計画	
第13週 6月29日	防災・避難	
第14週 7月6日	積算・企画・マネージメント	
第15週 7月13日	試験	

## 富山クリエイティブ専門学校 建築学科 授業計画書

授業名	建築史(1学期)	講師名	福井真澄	実務経験教員区分	有り
令和年度・学年・学期・曜日・限			令和2年度・1学年・1学期・火曜日・3限～4限		
授業種別	講義	評価方法	試験・小テスト	単位数	2単位
教室	501教室	教科書	図説・建築の歴史/学芸出版社	教材	

講義概要
<p>建築の歴史について、西洋・日本、古代から近世にわたって学習する。</p> <p>古今東西の建築作品、建築様式、建築家等について、教科書を中心に図集等を用い、建築と人間社会の多様な関わり方の歴史を学ぶ。毎回、講義の最後に小テストを行い、授業内容の理解を確実にする。</p>

目標・ねらい
<p>この授業では、過去の優れた作品、優れた建築家について学ぶことによって、現在について深く考え、未来を想うことを身につけてもらいたい。建築を学ぶ者としての、常識的な知識を得ることを目的とする。</p>

期間・日程	内容	備考
第1週 4月6日	建築の始まり・日本古代(1)	
第2週 4月13日	日本・古代(2)神社	
第3週 4月20日	日本・古代(3)寺院	
第4週 4月27日	日本・古代(4)宮殿・寝殿造り	
第5週 5月4日	みどりの日	
第6週 5月11日	日本・中世(1)寺院	
第7週 5月18日	日本・中世(2)神社・座敷の成立・民家	
第8週 5月25日	日本・近世(1)城郭・書院造り	
第9週 6月1日	日本・近世(2)茶室・数寄屋造り	
第10週 6月8日	西洋・古代(1)オリエント・エジプト	
第11週 6月15日	西洋・古代(2)ギリシャ	
第12週 6月22日	西洋・古代(3)ローマ	
第13週 6月29日	西洋・中世(1)初期キリスト教建築・ロマネスク	
第14週 7月6日	西洋・中世(2)ゴシック	
第15週 7月13日	試験	

## 富山クリエイティブ専門学校 建築学科 授業計画書

授業名	建築史(2学期)	講師名	福井真澄	実務経験教員区分	有り
令和年度・学年・学期・曜日・限			令和2年度・1学年・2学期・火曜日・1限～2限		
授業種別	講義	評価方法	試験・小テスト	単位数	2単位
教室	501教室	教科書	図説・建築の歴史/学芸出版社	教材	

<b>講義概要</b>
建築の歴史について、西洋・日本、古代から近世にわたって学習する。
古今東西の建築作品、建築様式、建築家等について、教科書を中心に図集等を用い、建築と人間社会の多様な関わり方の歴史を学ぶ。毎回、講義の最後に小テストを行い、授業内容の理解を確実にする。

<b>目標・ねらい</b>
この授業では、過去の優れた作品、優れた建築家について学ぶことによって、現在について深く考え、未来を想うことを身につけてもらいたい。建築を学ぶ者としての、常識的な知識を得ることを目的とする。

期間・日程	内容	備考
第1週 8月31日	西洋・近世(1)ルネサンス	
第2週 9月7日	西洋・近世(2)新古典主義・歴史主義	
第3週 9月14日	西洋・近代(1)産業革命以後	
第4週 9月21日	秋分の日	
第5週 9月28日	西洋・近代(2)世紀末と新しい様式(1)	
第6週 10月5日	西洋・近代(3)シカゴ派、フランク・ロイド・ライト	
第7週 10月12日	西洋・近代(4)ル・コルビュジェ	
第8週 10月19日	西洋・近代(5)ミース・ファン・デル・ローエ	
第9週 10月26日	日本・近代(1)西洋建築の出現・輸入、理解と習熟	
第10週 11月2日	文化の日	
第11週 11月9日	日本・近代(2)耐震理論、表現主義、帝冠様式	
第12週 11月16日	戦後の建築(1)	
第13週 11月23日	戦後の建築(2)	
第14週 11月30日	ポストモダンから現代	
第15週 12月7日	試験	

## 富山クリエイティブ専門学校 建築学科 授業計画書

授業名	環境 I	講師名	外崎 夢大	実務経験教員区分	有り
令和年度・学年・学期・曜日・限			令和2年度	1学年 2学期	月曜日 7限～8限
授業種別	講義	評価方法	受講姿勢・試験	単位数	2単位
教室	501教室	教科書	やさしい建築環境	教材	

<b>講義概要</b>
我々人間は、快適に過ごすことのできる空間を常に要求し、時代とともに室内空間での過ごし方が変化してきた。
快適に過ごすにはどうすればよいか考えてみると、今いる環境を知る必要がある。
授業では、光環境・温熱環境・空気環境・熱環境そして地球環境について学び、快適に暮らせる空間について考えてみる。

<b>目標・ねらい</b>
建築環境に関する基礎的知識の習得する。
快適な空間を考える。
建築空間内の環境の現状について、数学的・物理的手法について習得する。

期間・日程	内容	備考
第1週 9月7日	建築環境の概要	
第2週 9月14日	光環境 ○照明	
第3週 9月21日	敬老の日	
第4週 9月28日	温熱環境 ○熱の伝わる仕組み	
第5週 10月5日	〃	
第6週 10月12日	○湿度と結露	
第7週 10月19日	○体感温度、日射	
第8週 10月26日	〃	
第9週 11月2日	空気環境 ○汚染する物質	
第10週 11月9日	○自然換気	
第11週 11月16日	○機械換気、換気計画	
第12週 11月23日	勤労感謝の日	
第13週 11月30日	音響環境 ○音の性質、室内の音	
第14週 12月7日	地球環境	
第15週 12月14日	試験	

## 富山クリエイティブ専門学校 建築学科 授業計画書

授業名	環境 I	講師名	外崎 夢大	実務経験教員区分	有り
令和年度・学年・学期・曜日・限			令和2年度	2学年 1学期	月曜日 3限～4限
授業種別	講義	評価方法	受講姿勢・試験	単位数	2単位
教室	502教室	教科書	イラストでわかる建築設備	教材	

<b>講義概要</b>
<p>生活の営みは、水・光・熱・空気などを制御することにより、より一層快適なものとなる。そこで、身の回りの設備機械がどのように生活を快適にしているのかを、空調設備・換気設備・給排水衛生設備を重点的に解説し、設備工学の重要性を認識させる。</p>

<b>目標・ねらい</b>
<p>環境工学の知識と機械工学の知識を組み合わせることで学ぶ。</p> <p>設計手法や関連法令、施工要点などを習得する。</p>

期間・日程	内容	備考
第1週 4月6日	建築設備の概要	
第2週 4月13日	空調設備	
第3週 4月20日	"	
第4週 4月27日	"	
第5週 5月4日	こどもの日	
第6週 5月11日	換気設備	
第7週 5月18日	"	
第8週 5月25日	"	
第9週 6月1日	"	
第10週 6月8日	給排水衛生設備	
第11週 6月15日	"	
第12週 6月22日	"	
第13週 6月29日	"	
第14週 7月6日	"	
第15週 7月13日	試験	

## 富山クリエイティブ専門学校 建築学科 授業計画書

授業名	構造力学	講師名	生瀬吉美	実務経験教員区分	有り
令和年度・学年・学期・曜日・限			令和2年度	2学年 1学期	木曜日 3限～4限
授業種別	講義	評価方法	受講姿勢・試験	単位数	2単位
教室	502教室	教科書	図説 建築構造力学	教材	

<b>講義概要</b>
<p>建築構造を学ぶために、物理現象としての力学を理解する必要がある。物理学の体系の力学分門を建築にアプライすることになる。建築構造において、力学現象をしっかりと数理的に捉える次元まで理解させる。</p>

<b>目標・ねらい</b>
<p>構造力学に必要な計算(四則計算、分数計算、記号計算、三角関数)を理解する。</p>
<p>力のつり合い式を理解し、解けるようになる。</p>
<p>部材に生じる応力について理解し、解けるようになる。</p>

期間・日程	内容	備考
第1週 4月9日	構造力学に必要な計算	
第2週 4月16日	力の方向・分解・合成	
第3週 4月23日	力のモーメント	
第4週 4月30日	力のつり合い	
第5週 5月7日	"	
第6週 5月14日	反力 (支え方、単純梁)	
第7週 5月21日	反力 (片持ち梁)	
第8週 5月28日	反力 (ラーメン構造)	
第9週 6月4日	部材に生じる応力(軸方向力、せん断力、曲げモーメント)	
第10週 6月11日	部材に生じる応力(単純梁・片持ち梁)	
第11週 6月18日	部材に生じる応力(ラーメン構造)	
第12週 6月25日	せん断力図・軸方向力図・モーメント図の描き方	
第13週 7月2日	"	
第14週 7月9日	部材に生じる力(3ヒンジラーメン構造)	
第15週 7月16日	試験	

## 富山クリエイティブ専門学校 建築学科 授業計画書

授業名	建築構造 I	講師名	生瀬吉美	実務経験教員区分	有り
令和年度・学年・学期・曜日・限			令和2年度	1学年 1学期	水曜日 5限～6限
授業種別	講義	評価方法	受講姿勢・試験	単位数	4単位(1・2学期)
教室	501教室	教科書	初学者の建築講座 建築構造	教材	

<b>講義概要</b>
<p>建築では、構造はなくてはならない分野です。建築物を建てるにしても、構造が成り立って建つことができるのです。構造 I では、木構造の各構造の特性や構成、成り立ちを学びます。</p> <p>また、法的な規定や仕様規定における重要な数値を学びます。</p>

<b>目標・ねらい</b>
<p>建築物を構成している構造材料と構造形式を知る。</p> <p>建築物の機能を発揮させるための材料・構法の基本を知る。</p> <p>建築物に働く力に対する安全性を学ぶ。</p> <p>木構造について説明できるようになる。</p>

期間・日程	内容	備考
第1週 4月8日	建築構造とは ○構成・外力	
第2週 4月15日	○構造設計法の概要	
第3週 4月22日	基礎 ○土の性質、基礎の種類	
第4週 4月29日	昭和の日	
第5週 5月6日	祝日の振替休日	
第6週 5月13日	木構造 ○木構造の概要	
第7週 5月20日	○材料・接合・金物	
第8週 5月27日	○軸組・壁量計算	
第9週 6月3日	○ "	
第10週 6月10日	○ "	
第11週 6月17日	○小屋組・床組	
第12週 6月24日	○枠組壁工法・集成材を用いた構造	
第13週 7月1日	○各部構造	
第14週 7月8日	○木質構造のまとめ	
第15週 7月15日	試験	

||

## 富山クリエイティブ専門学校 建築学科 授業計画書

授業名	建築構造 I	講師名	生瀬吉美	実務経験教員区分	有り
令和年度・学年・学期・曜日・限			令和2年度	1学年	2学期 木曜日 7限～8限
授業種別	講義	評価方法	受講姿勢・試験	単位数	4単位(1・2学期)
教室	501教室	教科書	初学者の建築講座 建築構造	教材	

<b>講義概要</b>
<p>建築では、構造はなくてはならない分野です。建築物を建てるにしても、構造が成り立って建つことができるのです。構造 I では、鉄筋コンクリート構造・鉄骨造などの各構造の特性や構成、成り立ちを学びます。また、法的な規定や仕様規定における重要な数値を学びます。</p>

<b>目標・ねらい</b>
建築物を構成している構造材料と構造形式を知る。
建築物の機能を発揮させるための材料・構法の基本を知る。
建築物に働く力に対する安全性を学ぶ。
鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造について説明できるようになる。

期間・日程	内容	備考
第16週 9月3日	鉄筋コンクリート構造 ○鉄筋コンクリート構造の概要	
第17週 9月10日	○材料	
第18週 9月17日	○柱・梁	
第19週 9月24日	○スラブ・耐震壁	
第20週 10月1日	○その他のコンクリート系構造・各部構造	
第21週 10月8日	○鉄筋コンクリート構造のまとめ	
第22週 10月15日	試験	
第23週 10月22日	鉄骨構造 ○鉄骨構造の概要	
第24週 10月29日	○鋼材の種類と材料	
第25週 11月5日	○接合・柱脚	
第26週 11月12日	○トラス構造・その他の鉄筋構造	
第27週 11月19日	○耐火被覆・錆止め	
第28週 11月26日	○各部構造	
第29週 12月3日	○鉄骨構造のまとめ	
第30週 12月10日	試験	

## 富山クリエイティブ専門学校 建築学科 授業計画書

授業名	建築構造Ⅱ	講師名	生瀬吉美	実務経験教員区分	有り
令和年度・学年・学期・曜日・限			令和2年度	2学年 2学期	金曜日 1限～2限
授業種別	講義	評価方法	受講姿勢・試験	単位数	2単位
教室	502教室	教科書		教材	

<b>講義概要</b>
<p>建造物の安全性を如何に確保するかが建築構造に課せられた使命であり、特に建築意匠をそこなうことなく構造的に如何に対処するかが構造計画・構造設計の目的である。このため、ここでは構造力学を設計という観点から学びなおして、構造の計画や設計の基礎力を磨くことにする。</p>

<b>目標・ねらい</b>
<p>構造計画ならびに構造設計の全貌を学ぶ。</p> <p>各構法の構造設計方法を学ぶ。</p> <p>基本的知識を問題を解きながら習得する。</p>

期間・日程	内容	備考
第1週 9月4日	構造の設計方法	
第2週 9月11日	木構造 ○接合部	
第3週 9月18日	○壁量計算	
第4週 9月25日	○床構面の計算	
第5週 10月2日	鉄筋コンクリート構造 ○鉄筋コンクリートの性質	
第6週 10月9日	○梁の部材設計	
第7週 10月16日	○柱の部材設計	
第8週 10月23日	○スラブの設計	
第9週 10月30日	○定着、付着	
第10週 11月6日	鉄骨構造 ○鋼材の性質	
第11週 11月13日	○梁の部材設計	
第12週 11月20日	○柱の部材設計	
第13週 11月27日	○スラブの設計	
第14週 12月4日	鉄骨鉄筋コンクリート構造	
第15週 11月11日	試験	

## 富山クリエイティブ専門学校 建築学科 授業計画書

授業名	建築材料	講師名	生瀬吉美	実務経験教員区分	有り
令和年度・学年・学期・曜日・限			令和2年度	1学年 1学期	木曜日 5限～6限
授業種別	講義	評価方法	受講姿勢・試験	単位数	2単位
教室	501教室	教科書	図説 建築材料	教材	

<b>講義概要</b>
<p>建築物を構成するものは材料である。材料の特質を理解した上で建築の構造さらに設計へと関連性を勉強していく。このため、材料の建築における使われ方を中心に学ぶ。</p>

<b>目標・ねらい</b>
<p>何故にその材料が使われ、何故に今使われなくなったのか、また特定の材料が何ゆえ建築材料として多用されているかといったことを学ぶ。</p>
<p>構造用材料の木材・鉄鋼・コンクリートについて特徴や種類・形状などについて学ぶ。</p>
<p>材料の特徴を生かした目的や用途について学ぶ。</p>

期間・日程	内容	備考
第1週 4月9日	建築材料の概要	
第2週 4月16日	構造用材料 木材	
第3週 4月23日	〃	
第4週 4月30日	〃	
第5週 5月7日	鉄鋼	
第6週 5月14日	〃	
第7週 5月21日	〃	
第8週 5月28日	コンクリート	
第9週 6月4日	〃	
第10週 6月11日	〃	
第11週 6月18日	〃	
第12週 6月25日	内外装材料 非鉄金属・石材・ガラス・セラミック	
第13週 7月2日	プラスチック・塗料	
第14週 7月9日	機能材料 防水材料・防耐火材料	
第15週 7月16日	試験	

## 富山クリエイティブ専門学校 建築学科 授業計画書

授業名	建築施工(1学期)	講師名	大野	実務経験教員区分	有り
年度・学年・学期・曜日・時限			令和2年度・2学年・1-2学期・水曜日・1限～2限		
授業種別	講義	評価方法	受講姿勢・試験	単位数	4単位(45時間) ※1-2学期通し
教室	502教室	教科書	やさしい建築施工	教材	

講義概要
・建築施工では、建築が出来上がるまで工事内容手順を教科書に基づき学び、講義形式で基礎知識を学ぶ。

目標・ねらい
・建築施工では、建築生産の基本概念と建築工事についての過程と、建築が出来上がるまで工事内容手順を建築に携わる者としての基礎知識を身に付ける。

期間・日程	内容	備考
第1週 4月7日	・01 建築施工とは ・02 工事契約	
第2週 4月14日	・03 積算 ・04 施工計画	
第3週 4月21日	・05 施工管理	
第4週 4月28日	休み	祝日: 昭和の日
第5週 5月5日	休み	祝日: 振替休日
第6週 5月12日	・05 施工管理	
第7週 5月19日	・06 地盤調査 ・07 測量	
第8週 5月26日	・08 仮設工事	
第9週 6月2日	・09 土工事	
第10週 6月9日	・10 基礎地工事 ・11 鉄筋コンクリート工事	
第11週 6月16日	・10 基礎地工事 ・11 鉄筋コンクリート工事	
第12週 6月23日	・11 鉄筋コンクリート工事	
第13週 6月30日	・11 鉄筋コンクリート工事	
第14週 7月7日	・11 鉄筋コンクリート工事	
第15週 7月14日	・まとめ	・試験期間
月 日	・筆記 期末試験	・試験期間

## 富山クリエイティブ専門学校 建築学科 授業計画書

授業名	建築施工(2学期)	講師名	大野	実務経験教員区分	有り
年度・学年・学期・曜日・時限			令和2年度・2学年・1-2学期・水曜日・1限～2限		
授業種別	講義	評価方法	受講姿勢・試験	単位数	4単位(45時間) ※1-2学期通し
教室	502教室	教科書	やさしい建築施工	教材	

講義概要
・建築施工では、建築が出来上がるまで工事内容手順を教科書に基づき学び、講義形式で基礎知識を学ぶ。

目標・ねらい
・建築施工では、建築生産の基本概念と建築工事についての過程と、建築が出来上がるまで工事内容手順を建築に携わる者としての基礎知識を身に付ける。

期間・日程	内容	備考
第1週 9月1日	・12 鉄骨工事	
第2週 9月8日	・12 鉄骨工事	
第3週 9月15日	・13 コンクリートブロック工事	
第4週 9月22日	・14 木工事	
第5週 9月29日	・14 木工事	
第6週 10月6日	・14 木工事	
第7週 10月13日	・15 防水工事 ・16 屋根工事	
第8週 10月20日	・17 左官工事 ・18 タイル工事	
第9週 10月27日	・19 張り石工事 ・20 塗装工事	
第10週 11月3日	・21 建具工事 ・22 ガラス工事	
第11週 11月10日	・23 内装・断熱工事	
第12週 11月17日	・23 内装・断熱工事 ・24 ユニット・その他工事 ・25 外装工事	
第13週 11月24日	・まとめ	
第14週 12月1日	・まとめ	
第15週 12月8日	・筆記 期末試験	・試験期間

## 富山クリエイティブ専門学校 建築学科 授業計画書

授業名	建築法規Ⅰ	講師名	黒川二二夫	実務経験教員区分	有り
令和年度・学年・学期・曜日・限			令和2年度	1学年 2学期	水曜日 5限～6限
授業種別	講義	評価方法	受講姿勢・課題・試験	単位数	2単位
教室	501教室	教科書	図説 建築法規	教材	

講義概要
<p>人々が集まって暮らし、相互に安全で快適な生活を営める社会を形成するには、様々な法令によって定められたルールが必要です。私たちの日常生活は、こうしたルールによって成り立っている。こうした、今後も変化して行くであろう社会を建築法規を通して学ぶことで本講義の目的である。尚、法改正にも対応したものとするとは言うまでもない。</p>

目標・ねらい
<p>建築の社会性を法規にどのように規定されているかを理解し、それが計画・構造学・施工法においてどのように展開されているのかを学ぶ。まずは建築単体や建築集団として法規の意味するところを学ぶ。</p> <p>その直近の建築動向なども伝え、より現実的にも伝えたい。</p>

期間・日程	内容	備考
第1週 9月1日	建築基準法の概要・体系と構成	
第2週 9月8日	用語の定義	
第3週 9月15日	同上	
第4週 9月22日	同上・試験	
第5週 9月29日	面積・高さの算定	
第6週 10月6日	同上	
第7週 10月13日	建築手続き等	
第8週 10月20日	同上・試験	
第9週 10月27日	一般構造規定	
第10週 11月3日	同上	
第11週 11月10日	同上	
第12週 11月17日	同上	
第13週 11月24日	構造強度規定	
第14週 12月1日	同上	
第15週 12月8日	期末試験	

## 富山クリエイティブ専門学校 建築学科 授業計画書

授業名	建築法規Ⅱ	講師名	黒川二二夫	実務経験教員区分	有り
令和年度・学年・学期・曜日・限			令和2年度	2学年 2学期	水曜日 7限～8限
授業種別	講義	評価方法	受講姿勢・課題・試験	単位数	2単位
教室	502教室	教科書	図説 建築法規	教材	

<b>講義概要</b>
<p>人々が集まって暮らし、相互に安全で快適な生活を営める社会を形成するには、様々な法令によって定められたルールが必要です。私たちの日常生活は、こうしたルールによって成り立っている。こうした、今後も変化して行くであろう社会を建築法規を通して学ぶことで本講義の目的である。尚、法改正にも対応したものとするとは言うまでもない。</p>

<b>目標・ねらい</b>
<p>建築基準法の単体規定・集団規定の法的意味を学ぶ。</p> <p>計画、設計する際に必要となる建築面積や延べ床面積の算出方法を学ぶ。</p> <p>建築士法、建設業法、品確法など建築には欠かせない法律を学ぶ。</p>

期間・日程	内容	備考
第1週 9月1日	防火規定	
第2週 9月8日	強情	
第3週 9月15日	避難規定	
第4週 9月22日	同上	
第5週 9月29日	集団規定	
第6週 10月6日	用途地域	
第7週 10月13日	防火地域・準防火地域	
第8週 10月20日	同上・試験	
第9週 10月27日	道路	
第10週 11月3日	建蔽率	
第11週 11月10日	容積率	
第12週 11月17日	高さ制限	
第13週 11月24日	同上・試験	
第14週 12月1日	その他の関連法規	
第15週 12月8日	期末試験	

## 富山クリエイティブ専門学校 建築学科 授業計画書

授業名	図学	講師名	加藤 則子	実務経験教員区分	有り
令和年度・学年・学期・曜日・限			令和2年度・1学年・2学期・金曜日・1限～4限		
授業種別	演習	評価方法	受講態度・課題	単位数	4単位
教室	501教室	教科書		教材	

講義概要
<p>デザイン推敲のための手段や表現として、またコミュニケーション手段として、思い描くものを、スケッチ表現できることが大切です。基本のカタチの鉛筆デッサンしたり、実際の建築のスケッチを行うことで、建築やモノの見え方や遠近を見る目を養います。</p> <p>建築・家具の外観の1点2点透視図を作図することで、表現と想像の感覚を豊かにします。</p>

目標・ねらい
<p>建築・家具の外観透視図を作図できるようにする。</p> <p>想像するカタチをスケッチで表現できる。</p>

期間・日程	内容	備考
第1週	各自で撮り集めた建築写真をレイアウトしまとめる。	
第2週	立方体と円柱のデッサン。	
第3週	撮影した建築写真や建築誌写真の模写	
第4週	パースの概要と基本事項。立方体2点パース＋凸凹。	
第5週	直方体2点パース＋応用(アイレベル低いタイプ)・平屋住宅。	
第6週	* 途中数回、建築外観スケッチ、撮影(例:環水公園、文学館、岩瀬)。	
第7週	"	
第8週	直方体2点パース＋応用(アイレベル低いタイプ)・ビルディング。	
第9週	直方体2点パース＋応用(アイレベル高いタイプ)・椅子、家具。	
第10週	"	
第11週	立方体2点パース＋応用(ピクチャライン、スタンディングポイントの位置の違い)。	
第12週	自分設計の建築2点パース＋ペン描き、陰影。	
第13週	自分設計の建築2点パース＋ペン描き、レンダリング。	
第14週	自分設計の建築2点パース＋外構デザイン、樹木、人間。	
第15週	自分設計の建築2点パース(＋着彩・淡彩)	
<学生の進み具合と郊外実習の天候によって変更あり。>		